



藤屋旅館建設時の完成予想画(当館蔵)



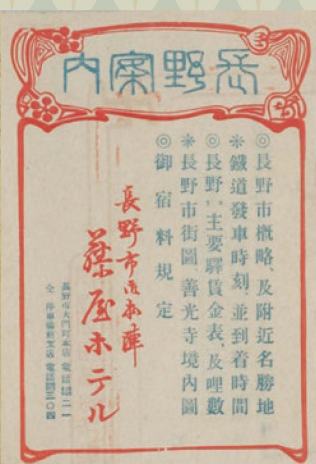
平五郎座右記

～藤屋御本陳と変わり行く門前町～

2025年 10月11日(土)～11月30日(日)



藤屋 長野停車場前支店(当館蔵)



「善光寺境内及付近之図」表紙(当館蔵)



現在の藤屋旅館 THE FUJIYA GOHONJIN本館(藤屋御本陳提供)

入場料:一般 500円 高校生 150円 小・中学生 100円 ※土曜日は、小・中学生無料 ※11/3(日・祝)は入館無料

開館時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日 10/14(火)・10/20(月)・10/27(月)・11/4(火)・11/10(月)・11/17(月)・11/25(火)



長野市立博物館
NAGANO CITY MUSEUM

〒381-2212 長野市小島田町1414
TEL.026-284-9011
FAX.026-284-9012

🔍 長野市立博物館



大正ロマン溢れる

藤屋御本陳本館の百周年を機に、

藤井家と善光寺町についての展示を行います。

平五郎座右記

〜藤屋御本陳と変わり行く門前町〜



藤屋 長野停車場前支店 (当館蔵)



藤井家文書日記類 (当館蔵)



関札 (当館蔵)

展示構成

プロローグ

大正十四年、和魂洋才の館

第一章

「御本陳」と善光寺宿

第二章

平五郎と長野の近代化

第三章

町の広がり

―大門町と藤井家―

エピローグ

変わり行く町、変わらない心



長野市全図 (当館蔵)

多くの善光寺参詣者を迎えてきた善光寺町。そのメインストリートである中央通りは、愛称「善光寺表参道」となりました。ここで親しまれてきた建物のひとつに藤屋御本陳があります。かつてはホテルとして利用されていた和魂洋才の建物は、二〇二五年に築百年を迎えました。

近世には宿場としても栄えた善光寺町において、藤屋は本陣であり、当主は代々平五郎を襲名してきました。平五郎たちは日記をしたためていました。日記の中には、身近なことを傍らに書き留めておくという意味の「座右記」という題がみられます。

本企画展では、江戸時代末〜大正時代初期の平五郎の日記からわかることを中心として、藤井家に伝わる様々な資料を展示し、時代とともに変わり行く町と家の姿を紹介します。

関連イベント

藤屋御本陳館内拝観 10月29日(水) 10:00〜

藤屋御本陳の見学会です。

食事をするだけでは見ることのできない建物の内部を特別にご案内いただきます。

問い合わせ先: 長野市立博物館 (026-284-9011)

当日参加可 (ただし、予約優先 先着20名程度)・現地集合 (藤屋御本棟前・10:00集合)

